



みみらんど通信

発行 福島県立聴覚支援学校 会津校 令和5年7月13日 第1号

日頃より、多くの皆様に地域支援センターみみらんど・會津の活動についてご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

みみらんど・會津では、特別支援教育コーディネーターを中心に、個々の教員の専門性を生かし、子どもたちがより良い場で、より良い生活や活動ができるよう、一緒に考えていきたいと思っています。

7月21日には、第1回公開学習会を予定しています。家庭や学校で、子どもたちの豊かな言葉を育てるために、何に気をつけばよいのか、どんなことができるのか、一緒に学んでみませんか？

みみらんど・會津で行っている取り組みについてご紹介します。どうぞお気軽にご活用ください。

関係機関と連携した支援

福島県総合療育センターとの連携

個々の、聞こえの状態に合わせて、補聴援助システムを使うための、補聴器の調整を依頼したり、補聴器の買い替えの際に、試聴器装用時の学校での様子をお伝えして、助言をいただいたりしています。お子さんの聞こえの実態により、補聴援助システムが効果的な場合と、様々な音を、たくさん聞かせることが必要な時期がありますので、補聴援助システムの使用については、主治医とご相談ください。

補聴器の買い替え時期を迎えるようなときには、補聴援助システムの使用を視野に入れて、検討していただければ幸いです。

お気軽にご相談ください。



スクールソーシャルワーカー(SSW)との連携

会津教育事務所や市町村のソーシャルスクールワーカーと連携して、家庭支援を行っています。スクールソーシャルワーカーとは、社会福祉制度を始め、幅広い社会的な制度や活動に関する情報・知識を持っている専門家です。家庭と地域の資源をつなげるお手伝いをします。

地域生活や家庭生活のことで相談してみたいという場合は、みみらんど担当者にお声かけください。

県内の聴覚支援学校本分校や支援学校との連携

会津地区の3つの支援学校（会津支援学校、会津支援学校竹田校、猪苗代支援学校）と連携し、進路選択等の情報提供や支援を行っています。各校の見学や教育相談等のご希望がある場合には、ご相談ください。

福祉事業所との連携

相談支援事業所の相談員の方と連携し、サービス担当者会議やケア会議等に、担任や担当が出席できるように調整をしたり、必要に応じて保護者の承諾を得て情報提供を行ったりしています。学校を会場にすることもできます。

出かける支援

会津校の子どもたちが居住地でより充実した交流活動を行い、地域生活を送ることができるように支援しています。居住地校交流では、補聴器や人工内耳の大切さや扱い方、コミュニケーションのポイントなどを、交流先の幼児や児童の皆さんに説明しています。また、聴覚障がいや手話について理解を深めてもらうための、出前授業も行っています。

また、地域の幼稚園や保育園、小・中学校の要請を受けて、先生方を対象に研修会を行ったり、地域に在籍する聴覚障がい児童生徒の支援について、授業参観やケース会議、個別の教育支援計画の作成の支援等を行っています。



みみちゃん教室



0歳児から、きこえやことばに関する相談、子育て相談に相談に応じています。

今年度は、0歳児1名、1歳児1名、2歳児5名、3歳児1名、5歳児2名、計10組の親子がみみちゃん教室を定期的に利用されています。楽しく遊びながら、音声、手話、身振りサインなどを用いて、親子のコミュニケーションが成り立つことを目指します。また、遊びを通して、音への注意を促したり、声を育てたりします。音遊びや歌遊びのほか、行事に合わせて簡単な制作活動なども取り入れ、親子の会話のきっかけをつくります。「手話で、どう表現するの？」

「音への反応って、どんな様子が見られるの？」など、気になることは、お気軽にご質問ください。



教材・教具や聴覚障がいに関する書籍などの紹介・貸出も行っています。

〔図書室の本棚より〕

「発達障害の子のビジョントレーニング」 講談社

北出 勝也 監修

学校医の米山先生からの寄贈書です。タイトルに発達障がいとありますが、障がいの有無にかかわらず、何となく運動が苦手そうに感じる、ものを見る時に頭を傾けている、文章を読むときに1~2行読み飛ばしがちなど、子どもの様子で気になることは、ありませんか？視力は良くても、見え方に問題があると見えにくいことがあります。トレーニングで改善することもあり、文字を楽に読める、体を楽に動かせることで、自己肯定感も高まります。

手話や指文字の読み取り、表現にも目の使い方は大切です。



「文法が基礎からわかる日本手話のしくみ」大修館書店

NPO法人バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター編

日本手話は、日本語や英語と同じ1つの言語です。手話には、日本語をベースに手話単語で表現する日本語対応手話と日本語とは異なる分法をもつ日本手話があります。手形や動き、表情などに日本語助詞の機能を含んでいます。手話の単語はいろいろわかるようになってきたので、もっと伝わりやすい手話表現を覚えたいという場合に参考になります。